

令和6年度の活動状況等

【活動状況】

視 察	○ 令和6年7月23日(火)から令和6年11月28日(木)までの間 県下12留置施設の視察を実施
委 員 会 会 議	○ 第1回：令和6年6月13日(木) ○ 第2回：令和6年9月25日(水) ○ 第3回：令和7年2月12日(水)

【留置業務管理者に対する意見及び確認した対応状況】

追番	視察委員の意見	対応状況、方針
1	浴室内の金属製溝蓋(排水溝)が取り外し可能であり危険である。	溝蓋をねじ止めし、固定できるよう施工した。
2	被留置者から「就寝時に照明が明るすぎて眠れない」との意見があった。	居室内の照度を計測し、著しく睡眠を妨げる照度ではないことを確認した。
3	留置施設内の匂いが気になる。	臭気の原因については、留置施設内の配管の亀裂から一部水漏れがあったことによるものと判明し、補修を実施した。
4	居室外トイレの上部が開放状態であり、勤務員のプライバシーが保たれていない。	居室外トイレの個室化について検討する。
5	フロアタイルの一部が剥げているので、看守勤務員の勤務環境向上のためにも補修は可能か。	破損しているフロアタイルの張り替えを実施した。
6	浴槽が深く、浴室内に段差もあるため高齢の被留置者にとって不便ではないか。	入浴の際には、利用者に対し注意喚起を行うほか、必要に応じて看守が介助にあたることで対応する。
7	○ 官本は長期拘束されている被留置者に配慮し、もう少し数があると良い。 ○ 被留置者から官本の量を増やしてほしいとの要望があったので、可能な範囲で揃えていけば良い。	官本は、毎年、配分しているが、予備として保管している本を追加することで対応する。
8	物価高騰により、現在の食糧費では、被留置者が1日に必要なカロリーや栄養を充足できなくなるおそれがあるので、	物価高を背景とした食糧費を巡る現状について予算担当者と共有し、予算の増額を要求していく。

	食糧費を増額してもらいたい。	
9	看守は、ストレスを抱えながらも適正処遇に努めていると感じたが、引き続き留置事故等の防止に向けて一層勤務に精励してもらいたい。	個々の勤務員が心身ともに健康で、持てる力を遺憾なく発揮できるよう勤務環境の改善を図っていく。